

動物実験に関する自己点検・評価報告書（平成 28 年度）

筑波大学

平成 29 年 8 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学動物実験取扱規程、動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した機関内規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学動物実験取扱規程、動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。また、実験動物飼養保管基準に則した委員会の機能を有している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学動物実験取扱規程、計画書等の様式、計画書の記入例、動物実験計画の審査要領、動物実験計画の審査について（フローチャート）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学遺伝子組換え実験安全管理規程、筑波大学研究用微生物等安全管理規程、筑波大学放射線障害予防規程、筑波大学毒物及び劇物管理規程、筑波大学廃棄物管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程が定められ、実施体制が整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成 28 年度実験動物飼養保管施設一覧表、飼養保管施設設置承認申請書、視察結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

施設ごとに実験動物管理者が置かれ、施設管理者による管理体制がとられている。28 年度内に 2 件の新たな実験動物飼養保管施設の設置があった。全学で 18 の実験動物飼養保管施設（うち、ゼブラフィッシュ及びアユ飼育施設は規程の対象外）が設置され、基本的には、文科省基本指針や環境省飼養保管基準に則した管理体制がとられている。小規模施設では最新情報の入手や周知が遅れがちになるため、小規模施設の集約化や共用化による更なる管理体制の強化について、引き続き検討が必要である。

4) 改善の方針、達成予定時期

小規模施設の集約化や共用化の促進について検討する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学動物実験取扱規程、動物実験委員会名簿、28 年度動物実験委員会議事要旨
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 28 年度には定例の委員会を 2 回開催し、動物実験計画の審査、実験結果報告の確認、教育訓練の実施、自己点検・評価等について審議した。また、随時、メールでの審議、情報の共有を図り、委員会の活動が適切に実施された。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会議事要旨、平成 28 年度動物実験計画一覧、平成 28 年度動物実験結果報告書の集計結果
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画の立案、審査、承認、実施結果の把握と必要な改善指導が基本指針に則して実施されている。平成 28 年度には 458 件の動物実験計画が承認され、458 件の結果報告書が提出された。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成 28 年度特殊実験区分（遺伝子組換え生物使用実験、感染動物実験、有害物質投与動物実験、放射線同位元素・放射線使用動物実験）ごとの動物実験計画の一覧表</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成 28 年度には、遺伝子組換え生物使用実験 225 件、感染動物実験 35 件、有害物質投与動物実験 30 件、放射線同位元素・放射線使用動物実験 25 件が実施された。これらは関連法令や学内規程にしたがって実施され、事故など安全管理上の問題は生じていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成 28 年度実験動物飼養保管状況に関する調査、平成 28 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>全学 18 の実験動物飼養保管施設のうち、2 施設では 28 年度に動物の飼養保管は行われなかった。他の施設において多数の実験動物が飼養保管されたが、重大な感染症の発生や動物の逸走等はなかった。マウス・ラットを飼育する施設の中で、繁殖を行っている施設、継続的に多数の動物を飼育する施設では微生物モニタリングを実施し適切な健康管理がされているが、短期間しか飼育しない小規模施設では微生物モニタリングを実施していなかった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成 29 年 6 月、通年でマウス・ラットを飼養している施設は微生物モニタリング検査を実施するよう動物実験委員会から指示を行った。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 平成 28 年度実験動物飼養保管施設一覧表、動物実験室一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ほとんどの施設は良好に維持管理がなされているが、一部の飼養保管施設・設備の老朽化が進んでおり、改修工事の計画が立案されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 次年度に 1 施設の改修工事が実施される予定となった。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 全学講習会の実施記録、飼養保管施設での講習会の実施の有無、開設授業科目一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に則した全学講習会を 3 回（うち 1 回は英語による講習）および同様の内容のビデオ講習を 57 回開催し、合計、305 名が受講した。これ以外に、各飼養保管施設にける個別の講習、学部学生や大学院生に対する安全管理や実験動物関連カリキュラムをとおり、動物実験や実験動物に関する基本的知識や技術を教育した。
4) 改善の方針、達成予定時期 本学飼養保管施設の実験動物管理者に対する更なる教育向上のため、(公社) 実験動物学会が行っている実験動物管理者等研修会への参加を勧めていく。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成 24、25、26、27 年度自己点検・評価報告書、検証結果報告書（平成 23 年）、筑波大学動物実験委員会ホームページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

基本指針への適合性、飼養保管基準の遵守状況について、動物実験委員会が自己点検・評価を実施した。また、基本指針や飼養保管基準にしたがって、動物実験の実施状況や実験動物の飼養保管状況等の情報を大学ホームページ上で公開した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当せず。